平成24年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式3

●施設の概要

施設名	岐阜市ドリームシアター岐阜	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市明徳町6番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日~平成29年3月31日		
選定方法	□公募	非公募	
料金制	☑ 使用料 □ 利用料	金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	94,331,000円		
施設の設置目的	青少年の日常的な文化活動を進めるとともに、	市民の教養の	向上を図る。
施設概要	研修室3、会議室、和室2、クッキングルーム、こ インホール、パソコンルーム、クラフトルーム	プレイルーム、音	音楽スタジオ、音調室、リハーサル室、メ

●利用状況

			H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
	利用者数(単位:人)		32,133	33,100	30,666	34,902	30,162
	各室 稼働 状況 (%)	施設全体の稼働率(日)	73.9%	69.7%	72.0%	70.5%	71.2%
		施設(個人利用フロア)の稼働率(日)	99.3%	99.3%	98.6%	100%	100%

●業務の履行確認

区 分	確認事項	履行状況
利用者 サービス	①利用日·利用時間の厳守 ②適切な人員配置	①利用日・利用時間は厳守している。 ②利用者サービスが低下しないよう適切な人員配置 をしている。
	③広報の方策	③広報ぎふ、民間情報誌、新聞、ラジオなどの広報媒体への情報提供のほか、近隣市町の施設等に、催しの案内・リーフレット等を直接持参している。
	④苦情への対応	④マニュアルに基づき対応するとともに、必要に応じ館内会議等で協議している。
	下記主催事業を実施すること ①子ども対象事業	①子ども対象事業 28種類52回 参加者825人
指定事業	②親子対象事業	②親子対象事業 23種類36回 参加者1,171人
自主事業	③一般市民対象事業	③一般対象事業 12種類58回 参加者711人
	④特別企画事業	④特別企画事業 7回 参加者2,264人
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②タワーパーキング管理・保守点検	①清掃業務 ・日常清掃 毎日(開館日) ・定期清掃 床面12・3月 カーペット3月 照明・換気扇他1月実施 ②タワーパーキング保守点検:毎月実施
	③警備業務	③警備業務 ・日常警備 毎日(開館日) ・機械警備 毎夜(午後9時~午前9時まで) 休館日(午前9時~翌日の午前9時まで)
	④自家用電気工作物保安管理業務	④自家用電気工作物保守管理:11・1・3月実施

施設管理	 ⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 ⑥展示備品保守点検 ⑦自動火災報知設備保守点検 ⑧空調設備保守点検 ⑨自動ドア保守点検 ⑪エレベーター保守点検 ⑪パソコンサーバー保守点検 ⑫カラー複合機保守点検 ⑬空気環境測定 ⑭飲料用貯水槽清掃 ⑤水質検査 ⑯ねずみ等の生息調査及び駆除 	(⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 舞台照明装置 3月実施 音響機器 本年度機器入替によりメーカー保証対応 (⑥展示備品保守点検:2月実施 (⑦消防用設備保守点検:2月実施 (⑧空調設備保守点検:毎月実施 (⑨自動ドア保守点検:1月実施 (⑩エレベーター保守点検:毎月実施 (⑪カラー複合機保守点検:毎月実施 (⑪カラー複合機保守点検:毎月実施 (⑪カラー複合機保守点検:毎月実施 (⑪カラー複合機保守点検:毎月実施 (⑪カラー複合機保守点検:毎月実施 (⑪かカー複合機保守点検:毎月実施 (⑪かカーを会し、11・1・3月実施 (⑪か料用貯水槽清掃:9月実施 (⑪かずみ等の生息調査:6・9月実施 (⑯ねずみ等の生息調査:6・9月実施 ※職員による日常点検の実施 毎日(開館時間)に施設全般について点検を実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・適切な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常点検により異常個所や破損個所等の早期発見に 努めている。また、簡易な修繕については職員が迅速 に対応している。 ・ファンコイル不良部品取替修繕 日常点検や定期点検により、空調機器の異音や運転 状態に不備があったため、業者による修理を行い、最 良の状態を維持している。 ・トイレベビーキープ取付 親子での利用が多い1階と4階にベビーキープを設置 して、利用者の利便性を高めている。
危機管理· 法令遵守	①個人情報の保護 ②緊急時の対応策 ③関係法令の遵守	①講座申込みなどの際に入手する個人情報は、外付けのHDDに保存し、閉館時には金庫に保管している。 ②緊急地震速報の設置により対応マニュアルを作成し、職員及び来館者に周知している。 ・危機管理マニュアルを整備し、各職員に配布している。 ・消防訓練の実施や、救急救命講習・防犯対策研修会等に参加している。 ③条例・規則及び内規に基づき適切に実施している。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	 ①施設利用者アンケート・すべての利用団体にアンケートを実施アンケート質問項目は「職員の接客マナー」、「施設の使いやすさ」、「ご意見・ご要望」 ②主催事業参加者アンケート・講座や特別企画事業(イベント等)の参加者にアンケートを実施アンケート質問項目は「何で知りましたか」、「楽しかったですか」等及び「感想」
利用者アンケートの実施結果	①回収枚数 595枚 「接客マナー」 大変よかった73.0%、よかった24.6%、普通2.4%、悪かった0% 「施設の使いやすさ」 大変よかった70.8%、よかった25.2%、普通3.9%、悪かった0.1% <主な意見> ・快適に使わせていただいています。 ・これからも利用させていただきます。 ②回収枚数 492枚 「何で知りましたか」 ポスター・チラン51.6%、広報ぎふ29.1%、インターネット3.3%、情報誌2.4%、その他13.6% 「楽しかったですか」 大変満足78.7%、満足21.1%、やや不満足0.2%、不満足0% <主な意見> ・フェスタ秋、春に比べすごく楽しかったです。 ・託児付きの講座があり助かりました。 ・よく理解できる教え方でした。 ・子育て相談会でみんなの意見が聞けて良かったです。 ・普段できないことができて良かったです。 ・普段できないことができて良かったです。
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	利用者から頂いた意見等に対しては、下記のとおり適切に対応している。 <主な意見> ・広報ぎふを設置してほしい。 →広報広聴課に毎号数十部送付してもらうようにお願いをし、次号から設置した。 ・音楽スタジオのドラムセットのシンバルの音が良くない。 →専門業者に点検をしていただきましたが、特に問題はないとの回答を頂いた。 ・自動販売機を設置してほしい。 →設置の可否について市教委と検討することを説明した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

	■指定官理者の選定基準に基づく評価 ■ 対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対					西	
区分 選定	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	指定 管理者	所管課	評価 委員会	
	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解 度、取組姿勢など)	①市立の教育文化施設として、条例・施行規則に則った 利用許可を行い、特定団体や個人に対して、特段の便宜 を図っていないか。	А	А	Α	
		(2)平等利用を確保するための体制、 モニタリングなど	①年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、 改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円 滑で公正な施設運営に努めているか。	Α	Α	Α	
		(3)情報公開、広報の方策	①利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットや ホームページに掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S	
		(4)個人情報を保護するための方策	①個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報 公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	А	А	А	
			区分評価			А	
	II 事業計画書 の内象施設間 財ので を もので あること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①「ドリームシアター岐阜経営方針」のとおり「ふれあい、遊び、創造」をテーマとし、青少年教育や生涯学習に寄与する施設運営をしているか。	А	А	Α	
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の 魅力的な提案の有無、内容	①各フロアの特質を生かした特徴的なサービス提供や、 市民協働によるサービス向上、体験コーナーの充実を 図っているか。	ss	ss	SS	
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方 法及び対応方策など	①利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集 約し、改善に努めているか。	Α	Α	Α	
効果性		策	①参加者や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や 満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしてい るか。	А	А	А	
		(5)利用促進、利用者増の方策	①施設利用や主催事業のPR活動とともに、新しいプログラム開発に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S	
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限 発揮できるスタッフの配置	①より質の高い文化体験の提供や効率の良い施設管理 をするために、各分野に精通した職員を配置しているか。	А	А	А	
			区分評価			А	

		評 価 項 目	具体的な業務要求水準		評 個	5
区分	選定基準			指定 管理者	所管課	評価 委員会
		の縮減が図られるものであること』に	①より質の高い事業とサービスの提供を追求しつつも、利用者の安全性を損なうことなく、必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	Α	Α	Α
		(2)指定管理経費の設定額	①収支予算書との妥当性はどうか。	Α	Α	Α
	Ⅲ 事業計画書 の内容が、	(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	①利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減 に努めているか。	Α	Α	Α
効率性	管理経費の 縮減が図ら	(4)収支計画の妥当性	①削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	Α	Α	Α
	れるもので あること	(5)管理経費縮減の具体的方策	①事業・活動の目的の範囲内で、ボランティアの活用や事業の精選等、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	①職員の担当グループ化や勤務時間を工夫し、より効率 よく業務ができるように配置しているか。	А	А	Α
			区分評価			Α
	に沿った管 性 理を安定し	て行う物的能力、人的能力を有してい	①教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連 する事業、業務などの実績	①類似施設等の管理実績を参考にしているか。	Α	Α	Α
		(3)経営基盤の安定性	①公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	Α	Α	Α
			①各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。また、独自の施設内研修に各職員の専門性を活用しているか。	А	Α	Α
安定性安全性		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	①より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤 務しやすい職場環境ができているか。	Α	Α	Α
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人 材育成の方策	①各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした 研修計画書が作成されているか。	Α	Α	Α
			①夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛 生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が 確認されているか。	Α	А	Α
		(8)学校及び教育委員会との連携	①学校や教育委員会との連携やプログラム作成がなされているか。	SS	SS	SS
			区分評価			Α

V 事業計画書 の内容が、	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下、「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取り組み姿勢など)		Α	Α	А
岐阜市ある いは、施設 がある特定	(2)地元の法人その他の団体の育成 (一部業務の再委託先)	①地元の法人その他の団体との連携に努めるとともに、 その育成に取り組んでいるか。	SS	SS	SS
の地域(以 下「地元」と	(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	①施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	А	Α	А
いう。)の振 興、活性化 などに貢献	(4)地元での資材等の調達	①資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意 しているか。	Α	Α	А
できるもので あること	(5)その他地元への貢献に関すること	①地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に努めているか。	А	А	А
		区分評価			А

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など) ・施設の運営管理や主催事業については、事業計画書に基づき計画通り実施することができた。 ・管理経費縮減について、職員はもちろん、館内に節電のチラシを掲示するなど利用者の皆様にもご 協力いただき節電に努めた。結果、昨年度下半期と比較し、光熱水量費全体の支払額は99.1%で あった。 今期の取組み ・他教育施設との連携について、科学館とは、サイエンスフェスティバルへの協力。少年自然の家と に対する評価 は、ファミリーフェアでの体験コーナーの出展。青少年会館とは、講座内容の提案や講師派遣など連携 を図ることができた。 ・フェスタ秋においては、例年以上に多くの家族連れに楽しんでいただくことができた。 ・地元の大学サークルやサポーターと協働して定期的に事業を実施し、毎月のミニイベントとして位置 づけることができた。 ・学校諸団体の利用に減少傾向がみられたことに対して、リニューアルしたパンフレットを直接近隣市 前回までの意見を 町教育委員会や子ども会育成会担当部署に持参し、各学校や育成会役員への配布を依頼した。 踏まえた取組み状況 また、市内PTA会長会や家庭教育学級においても利用のPRをした。 ・岐阜市教育委員会の指導のもと、スローガンである「子どもが夢を!青少年が志を!市民みんなが 生きるよろこびを!」の具現化に向け、引き続き取り組んでいきたい。 ・今後もPDCAサイクルやモニタリングシステムを活用し、継続的に改善・見直しを行うことで、より充実 した事業の実施に努めたい。 ・科学館とは、駅前天体観望会やサイエンスフェスティバルでの連携をしていきたい。 また、自然の家や体育館とは、セミナーやドリームフェスタなどのイベントでの連携、青少年会館とは事 業内容や講師派遣などでの連携をしていきたい。 ・地元団体や大学サークルとの連携事業をさらに強化していきたい。 今後の取組み ・市内や近隣市町の教育機関・関係団体に対する直接的な広報活動を、より積極的に進め、利用促進 を図っていきたい。 ・登下校中の子ども達が困ったときや緊急時に立ち寄って援助を求めたり気軽にトイレ等を使用できる などの機能を設け、地域との連携並びに地域への貢献に努めていきたい。 ・今後も利用者の安全・安心を第一にした管理運営に努めるとともに、管理経費の縮減など、効率的運 用を図っていきたい。

●所管課の意見

- ・管理運営について、協定内容の要求水準に照らして良好である。
- ・学校団体の利用が減少傾向にあることをふまえ、近隣市町村、近隣施設に加え、PTA関係、子ども会関係などにも広報の範囲を広げるなど積極的な広報活動を展開している。
- ・利用者の要望や満足度を調査して事業展開や職員の接遇に活かしたり、新しいアイデアを積極的に取り入れたりすることにより、利用者の満足度は非常に高いものになっている。
- ・教育系大学、他の教育施設(自然の家、科学館など)、地元の学校、地元団体と積極的に連携・協働していくことで施設として の活動の幅を広げている。また、それによってさまざまな人たちに活動の場を幅広く提供することができ、人材育成にも貢献し ている。

●指定管理者評価委員会の意見

- 各評価項目の具体的な業務要求水準が良好に達成されている。
- ・公の施設は避難所としての役割もあるので、指定管理者の選定基準に基づく評価のⅣ-(7)「リスク対応」が、「S」「SS」になることがさらに望まれる。
- ・利用者の意見を注意して吸い上げ、サービスの改善につなげていくと良い。
- ・利用者アンケートを工夫して、どのような人が利用しているのか、何を求めているのかを把握し、新規の利用者やリピーター の増加につなげていくと良い。